



東本郷

元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい 東本郷小

学校だより

令和3年12月24日発行

川口市立東本郷小学校

TEL: 284-8076

チャレンジ精神をもって 新年を実りある1年にしましょう

校長 朝倉 伸行

今月、6年生児童が日光へ修学旅行に行きました。コロナ禍で例年とは異なる時期の実施ではありましたが天候にも恵まれ、奥日光では雪が残る豊かな自然に触れ、東照宮では歴史と文化を実感し、そして1泊2日の学習を通して仲間との絆を深めてきました。何よりも宿の方をはじめ出合った方々から児童の行動を褒めていただき、最高学年としての自覚をもって行動する姿に成長を感じました。

さて、本日、2学期の終業式を迎えました。今学期から少しずつ実施してきた様々な体験的な教育活動等を通して、子供たちが成長し飛躍した時期となりました。本日、学級担任からお子様へ渡しました通知表を通して、今学期におけるお子様の学習や生活の達成状況をご家族でご確認ください。自分ができること、できていないことを知り、目標をもって努力することが次への成長につながります。その努力の過程で大切にしたいことは、失敗を嫌がらないということです。子供たちの様子を見てみると、「失敗することは悪いことだ。恥ずかしいことだ。」と思っている子供がいるのではないかと感じる場合があります。しかし、そうでしょうか？「人間は転ぶことで歩くことを覚える。」という言葉聞いたことがあります。赤ちゃんは、はじめ歩くことができません。ある時期に立ち上がって歩こうとするようになって、すぐに歩くことはできません。お父さんやお母さんが差し出す手に向かって、何度も歩こうとしては転び、転んでは歩こうとして頑張ります。お母さん、お父さんは、にこにこしながら赤ちゃんを励まします。そして、やっと歩くことができたとき、お父さんもお母さんも赤ちゃんを抱きしめます。そのとき、赤ちゃんが転ぶことを「悪いこと」だとか「恥ずかしいこと」と思う人はいません。赤ちゃんは、何回も転ぶことを経験したからこそ、歩けるようになったのです。自転車に乗れる人や逆上がりのできる人は、その練習をしていたときに何度も失敗し、それでもあきらめずに練習していたことを覚えているのではないのでしょうか。人は生まれたときにできないことを、その後できるようになっていく不思議な動物です。しかし、それは、失敗することを恐れたり、嫌がったりしてはできるようにはなりません。もう一つ大切なことがあります。それは、失敗した人を笑ったり、からかったりしないことです。失敗した人を笑ったり、からかったりする人がいると、頑張る気持ちがくじけて、できるようになるチャンスを逃します。赤ちゃんを励ますお母さんやお父さんの優しさのように、みんなが安心して失敗できる学校の雰囲気や、そして、一生懸命頑張っている人を応援できる学校の雰囲気をつくるのが大切であると考えています。

新年は、すぐそこまで来ています。チャレンジ精神をもって新たな1年を過ごし、子供たちにとって実りある1年になることを願っております。そして、安全に充実した冬休みを過ごし、3学期の始業式に、子供たちが笑顔で登校してくれることを楽しみにしています。

コロナ禍ではありましたが、この1年間、本校の教育活動に対して保護者、地域の方々からご理解とご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。どうぞ良い年を、お迎えください。